

令和5年度 京都市伝統産業活性化推進審議会

産業観光局クリエイティブ産業振興室





- 1 計画及び審議会について
- 2 計画の進捗について
- 3 具体的な取組について
- 4 今後に向けて



1 計画及び審議会について

1 計画及び審議会について



京都市伝統產業活性化推進条例(平成17年度施行)

〇 目的

この条例は、伝統産業の活性化の推進に関し、その基本理念を定め、並びに本市及び事業者の責務並びに市民の役割を明らかにするとともに、伝統産業の活性化の推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、伝統産業の活性化を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。



京都市、事業者、市民がそれぞれに伝統産業の活性化に努める。

4つの基本理念

(1)

経済状況や 生活様式の 変化に常に 対応し、<u>市場を</u> <u>開拓</u>する **2**)

基盤の強化、 円滑な流通の 促進、技術の 継承と革新 **3**

優れた<u>価値を</u> 広く世界に<u>伝え</u>、 伝統産業の 魅力を増進する **(4**)

日本独自の 伝統<u>文化の継承</u> と文化の創造



第3期京都市伝統産業活性化推進計画・審議会

【第3期京都市伝統産業活性化推進計画】

○ 計画期間

平成29年度~令和8年度の10年間の計画期間

最大の目標 出荷額の増加

前回の審議会で御意見いただいた「指標」の在り方については継続課題

○ 3つの視点

① 伝統産業 × イノベーション

伝統産業 × 文化・観光 ③ 伝統産業 × 使い手

【京都市伝統産業活性化推進審議会】

○ 伝統産業の活性化の推進に関する事項について、調査・審議し、意見を述べる。

1 計画及び審議会について

第3期京都市伝統産業活性化推進計画後半期5年に向けて



1 京都の伝統産業振興に向けた今後の取組について

世界に誇る京都の伝統産業を活性化することにより、文化と産業・経済の好循環を構築し、都市の成長戦略の推進につなげるとともに、SDGsの達成に貢献

2 課題の確認



ビジョンを考えるうえでの4つのポイント

①持続可能なものづくり伝統産業品を

④つくり手・ 買い手・使い手 のコミュニケー ション活性化 <u>京都のブランド力、</u> <u>都市格の向上</u> (成長戦略に貢献)

3 ビジョン

★商品開発

マーケティングにより ニーズをとらえ、新た な顧客獲得につながる 商品を開発できている。

★後継者育成

働きたい若者と担い手 を必要とする事業者が マッチングできている。

★魅力発信・市場の拡大

つくり手・買い手・使 い手のコミュニケー ションが活性化してい る。

★事業承継・技術承継

事業者同士がM&A等によりマッチングできている。

★販路拡大

EC、バーチャル、海外展開などあらゆる手法で販路拡大が進んでいる。

★観光

宿泊施設等と伝統産業 がマッチングし、活用 されている。 工房訪問、体験が充実。 購入できる場所も充実。

★流通

③選ばれる

商品づくり

卸・問屋によるコンサルティングやECによる直販など多様な選択肢があり円滑に機能している。

★文化

文化事業との連携・融合が一層進んでいる。 くらしの中に取り入れられ文化度の高い生活が定着している。

★社会課題解決に貢献

社会課題解決につなが るものづくりが進んで いる。

★好事例・ベストプラク ティスの共有

好調な事例が業界全体 に共有されており、底 上げにつながっている。6

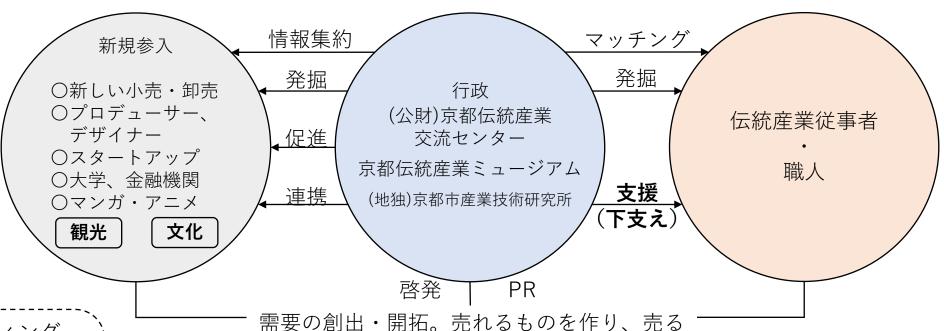
1

行政などの今後の役割 (マッチング)



〇これまでのような支援に加えて、伝統産業事業者「以外」と伝統産業事業者との<u>マッチング</u>なども積極的に進める

• 伝統産業分野に関心のある民間事業者、金融機関、大学、プロデューサーと、意欲的な伝統産業事業者の情報を収集し、 ビジネスマッチングの拠点に。



マーケティング 商品開発 販路拡大 後継者育成 事業・技術承継

DX支援

アート市場 ラグジュアリー向け市場

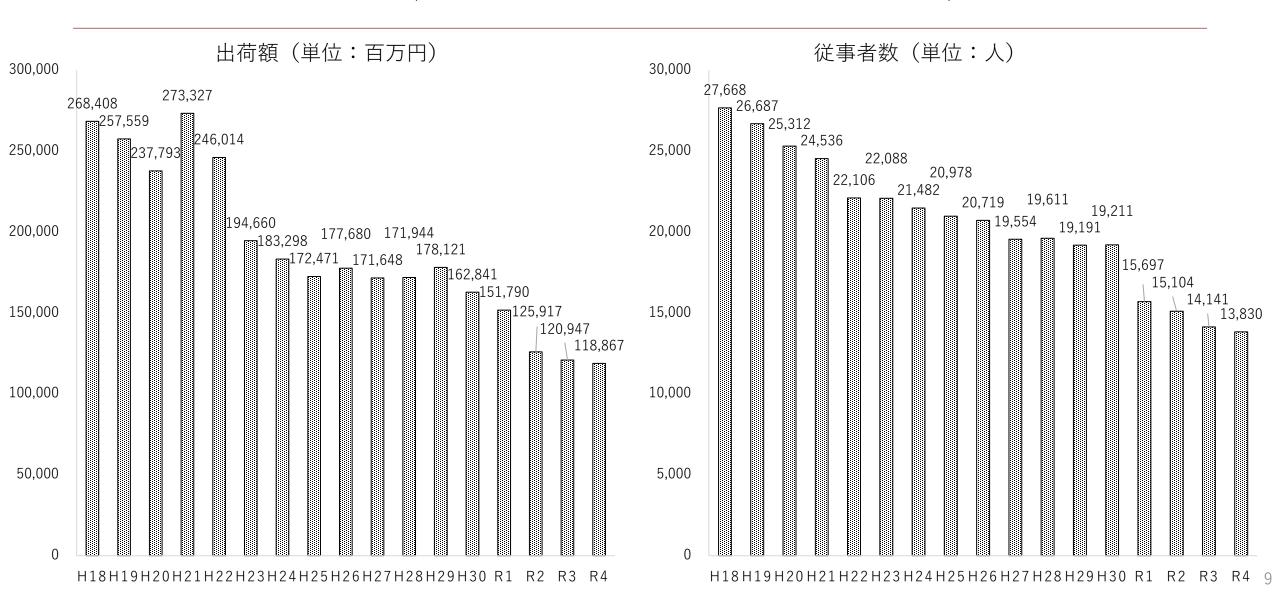
消費者 卸・小売 インバウンド市場 海外市場 選ばれる商品づくり マーケット拡大



2 計画の進捗について



現状(74品目業界アンケート調査)



計画の進捗について(6つの基本的施策)



基本的施策1 伝統産業に関する創造的活動に対する支援

- 他分野と連携したものづくりや販路拡大など先進的な取組を支援する「**未来構築事** 業」の実施(R5「海外展開枠」を新設)(R4:14件、R5:16件採択)
- 供給体制の確立や新たな事業展開等に向けた設備投資を支援する「生産力向上支援 事業 | の実施(申請189件)
- 若手職人がインターンシップを受け入れ、コーディネーターと共に広報や営業、雇 用に係る経営能力の向上に取り組む「**京もの担い手育成事業**」の実施 (通算13事業者)
- 首都圏PR(**京都館PJ**(動画配信、体験事業)、工芸品展示、大正大学との連携)
- マンガ・アニメ、ファッションブランド・雑誌との**コラボ事業**の実施
- **ふるさと納税返礼品**としての出品・商品開発

基本的施策 2 伝統産業に関する教育や学習の場における取組

- 職人とともに制作体験を行う「**京の匠ふれあい事業**」の実施(R4延雇用数830人)
- 小学4年生用副読本「わたしたちの伝統産業」の発行(R4全164校)
- 大学・学校等での講義・授業(R4実績5回)

基本的施策3 伝統産業に関する関心と理解を深める取組

- 「**伝統産業の日(春分の日**)」を中心に、年間通じて業界団体や民間事業者ととも に普及啓発を実施
- 「**日本酒乾杯条例**」の全国に先駆けた制定(10周年)
- 「**和のしつらえ**」、「京都和活」の提唱・提案・普及促進
- 隗より始めるプロジェクト(京もの販売会の開催、和装勤務等)
- 地下鉄烏丸線新車両「おもいやりエリア」への伝統産業品展示(9編成×2業種)









計画の進捗について(6つの基本的施策)



基本的施策4 技術の継承や後継者の育成

- 若手職人への**育成資金**の支給(通算1,340人)及び「**京の伝統産業わかば会**」での活動
- 現代のライフスタイルに合ったものづくりを行う若手職人を発掘する「**京ものユース** コンペティション | の実施(11年目)
- 伝統産業の後継者確保と障害のある方の就労機会創出を両立する「**伝福連携事業**」の 実施(R5:3業種を採択。通算7業種)
- 技術継承に向け老朽化した設備の改修を支援する「**設備改修等事業補助制度**」の実施 (R5:申請件数94件)

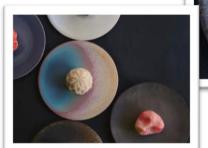
基本的施策 5 活性化拠点施設等の機能の充実

- **伝統産業ミュージアム**の機能強化(観覧料を設定→展示内容の充実、体験ブースの設置、解説案内機能の充実など)
- **(独法) 京都市産業技術研究所**の機能強化・連携強化

基本的施策 6 表彰や奨励

- 職人の長年の功績を称える「**伝統産業技術功労者表彰顕彰**」(延べ1,200名)
- 伝統産業の中核を担う中堅職人を認定する「**未来の名匠**」認定事業(延べ137名)

計画に定める6つの基本的施策の取組事例 51全てに着手!











3 具体的な取組

京都市伝統産業未来構築事業(海外展開枠の新設)



- 伝統産業の未来への継承に向け、幅広い分野・業種とのコラボレーションを通じ、「**現代のライフスタイルに合わせたものづ くり**| 「マーケット開拓・拡大| 「担い手育成| 等に先進的に取り組むグループ等を伴走支援
- 令和5年度からは、新たに「**海外展開枠**」を追加(R5採択件数採択件数:16件、うち5件が海外展開枠)
- 事業経費の一部を補助するとともに、コーディネーター(京都伝統産業ミュージアム)による進捗管理、セミナー・相談会・ 交流会の開催等により、事業効果の最大化、業界全体への波及につなげる。



表具×ランプシェード (海外展開枠) 表具の技術で制作したランプシェードの 制作及び海外展開に向けた改良を行い、 ドイツやパリで展示販売



京焼・清水焼×写真家 陶芸と写真、双方を通じた新たな表現 と感性の発掘。伝統工芸の新たな可能 性を追求。



京友禅×サリー(海外展開枠) 京友禅の海外での販路拡大に向け、 サリーを制作。インドでの展示販売



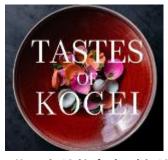
西陣織×アパレル展開(海外展開枠) 西陣織帯地を使用した日常で着用できるアパレルブランドの海外展開とOE Mサービスの展開



おりん×サウンドアーティスト 京仏具である「おりん」の音色を日常 に取り入れるサウンドインスタレー ションの開発と商品展開



漆×工芸の拠点づくり 漆を通じた工芸全般の交流・発信拠点を 設け、物販やBtoB、若手職人の育成に つなげる。



伝統工芸×海外飲食店(海外展開枠) 京焼・清水焼職人グループによる海外 の飲食店向けオーダーメイドサービス の構築及びプロモーション



京菓子×雑貨小売店 雑貨店からの小中学生向け和菓子の ニーズを受けた、菓子店及び就労支援 施設との連携による商品開発・販売

具体的な取組

京都伝統産業ミュージアムの機能強化





• 令和5年9月、新たに観覧料を設定。展示や機能の充実させるとともに、職人実演、制作体験の充実や、案内機能を強化 したほか、観覧料の一部は新商品製作等の伝統産業職人による新たな試みを応援するなどの伝統産業業界支援に活用する。

新たな取組

【新時代の工芸コーナー】

漆塗りのサーフボード・自転車、おりんのサウンドインスタレーションなど、 先進的な展示品を伝産事業者とともに企画・制作

※ 74品目の常設展示も定期的に入替

【職人実演】

職人実演を毎日実施。匠の技を間近で見ることができ、職人とふれあうこと により、伝統産業品の付加価値を高める。また、職人にとってもニーズやアイ デアを得る機会に。

【工芸体験】

来館者が気軽に参加できる京うちわや和ろうそくへの絵付け体験(有料) などの工芸体験を毎日実施

【案内・解説機能の強化】

館長及びミュージアムコンシェルジュによる館内ツアー実施 多言語対応の案内用タブレット端末貸出(有料)、二次元コードを活用し た館内案内の15言語対応を導入



京都伝統産業ミュージアムの機能強化





新たな取組

【団体客の呼び込み】

旅行会社等と連携し、国内外の団体ツアー、修学旅行を呼び込むとともに、 ミュージアム見学を盛り込んだツアーを構築。職人の工房訪問のオプションな ど様々なアレンジが可能

※中国大手クレジットカード会社銀聯国際と京都市が協定を締結し、 令和6年2月から、銀聯カード会員向けアプリにおいてミュージアムの 紹介及び優待チケットの事前販売(10%引き)を実施

【岡崎地域施設との連携】

近隣の京都市京セラ美術館、京都市動物園、国立近代美術館、細見美術館、 琵琶湖疏水記念館と相互に団体割引料金を適用する運用

【魅力的な企画・イベントの実施】

特別企画(「職人の道具展」「モダンひな人形展」等)や、ふるまい酒・ キッチンカー出店などを行う「ウェルカムフェア」、大型イベントと連携し たユニークベニュー活用や夜間開館などを実施

【ミュージアムショップ】

商品展開の充実や入替、来館者への200円引きクーポンの配布などにより、工芸品の売上大幅増加につなげる。











「伝統産業の日」事業の充実

- 伝統産業×絵本「京都のモノがたりプロジェクト|
- (株)福音館書店が出版する絵本5作品を題材として、次の3点に取り組む。

1 作品の世界観を表すワークショップ(伝統工芸の制作体験等)の開発

題材となる「絵本」の世界観を表現した作品の完成を目指すワークショップを開発。

2 作品とコラボした商品の開発・販売

1のワークショップの開発・実施に当たって制作する見本(完成品)を㈱福音館書店と連携 して商品開発し、販売。

3「絵本&クラフトフェスタ」の開催

1のワークショップ及び昨年度に開発したワークショップが体験できるイベントを開催。

日時:令和6年2月17日(土)午前10時~午後5時

場所:イオンモールKYOTO



(作品の例)







© Akiko Hayashi 16

「伝統産業の日」事業の充実



• 京都ならではの「**京都和活**」を提唱し、京都の伝統産業や伝統文化にとって欠かせない「**和のしつらえ**」の魅力をより深く知る 機会を創出するとともに、日常生活に和のしつらえを取り入れたいと感じる方を増やす。

1 市民を招いた「御池茶会」での取組

文化庁京都移転を機に「生活文化」の魅力を身近に体験できる機会として、 市民茶会を開催。参加者への着付け、地下通路への伝統産業品展示を実施

日時:令和5年9月23日(土)、24日(日)場所:京都市役所 本庁舎(和室・正庁の間など)





2 京町家での伝統工芸体験・ドール販売会

京町家を会場とした伝統工芸体験・販売を開催。併せてドール販売会を開催し、ドールファンや親子連れなど幅広い方に訴求

日時:令和5年12月16日(土)、17日(日)

場所:しまだいギャラリー【国登録有形文化財】

工芸制作体験:ミニ京たたみ制作体験、京こま制作体験





3 住宅メーカーと連携した京都和活の展示・体験

積水ハウスと連携し、特別見学会「住まいの参観日」において、現代の生活にマッチした 伝統産業品を展示。住宅購入を考える方へ和のしつらえを提案

日時:令和5年9月8日(金)~10日(日)

場所:長源寺



※ このほか、京もの認定工芸士会「響」によるデザオ建設とコラボ事業(モデルハウス内での伝統産業品展示・ワークショップ・クイズイベントなど)も自主的に開催されている。

17

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

伝統産業×デジタル

・EC販売、動画配信、バーチャル空間など様々な媒体を 活用して伝統産業の魅力発信、売上向上につなげる。

○ EC販売

・ 楽天「日本のよいもの市×京都の伝統産業」開催(R5 2/6~3/13) 1700点以上の商品を掲載。売上約22,050千円 500名限定の1,000円引きクーポンは初日から8日間で終了

○ ライブコマースの実施

- ・ 「17(いちなな)LIVE」との連携企画(R5 2/12~16) ライブコマースを活用(約3.3万人視聴) リアル販売会と連動して集客
- 「TikTok」との連携企画(R5 3月~)クリエイター3名とコラボ商品制作、動画配信(30万回以上再生)

○ バーチャル空間活用(京都館PLUS X)

・ 工房の動画配信、伝統産業ミュージアムのオンラインショップ連携 イベント情報の発信などに活用











伝統産業×宿泊事業者(コトノムスビ・プロジェクト)

令和4年度から開始。京都の工芸品・食材・体験などと京都の宿泊施設の縁をむすぶビジネスマッチングプロジェクト。

○ **令和5年度ビジネスマッチング商談会**(令和5年12月12日・13日開催)

来場者:市内宿泊事業者、不動産会社(ホテル計画者)、旅行会社、金融機関など

ブース出展事業者:30事業者(うち伝統産業事業者は15事業者)

西陣織、京友禅、京焼・清水焼、京からかみ、箔押し、京うちわ、京竹工芸、清酒など

<出展者への支援>商談会前・中・後の各段階で様々なサポートを実施。

商談会前:研修(講師:市内ラグジュアリーホテル、旅行会社等)

個別面談(宿泊施設向けの商品選定、ブース装飾等)

出展準備支援(宣材写真の撮影、事業者紹介文作成等)

商談会中:来場宿泊施設の事業者ブースへの誘導・前説

商談会後:個別面談(商談会後のフォローアップ営業の取組み方など)

宿泊施設スタッフ向け体験アクティビティモニターツアー開催

(参考)令和4年度商談会の主な成約事例(伝統産業分野)



【S00(ソマル)】 オリジナルお拭き



【RE:NISTA (リニスタ)】 オリジナル柄の西陣織プレート 北山杉クリスマスツリー



他にも、宿泊者プレゼントや 体験アクティビティ(陶芸体 験)などでも成約事例あり。

【中源】

19

日本酒乾杯条例10周年



平成25年1月15日、**全国初の「京都市清酒の普及の促進に関する条例」を制定。**業界と連携し、周知・啓発を実施。 **令和5年で10周年**を迎え、同趣旨の条例が、(令和5年9月現在)**約190の自治体に**広がっている。また、本年度は、 コロナ禍が明け、民間事業者によるイベント開催等も活発になっている。

行政の取組

■xxxHOLiC×京都の伝統産業 コラボ商品開発・販売

京都ゆかりの創作集団「CLAMP(クランプ)」の作品で、連載20周年を迎えた 「xxxHOLiC(ホリック)」とコラボし、「KYOTOHOLiC PROJECT」を実施。「京都酵 母 | を使用した日本酒3種と酒器などの伝統産業品5種類のコラボ商品を開発、販売。





業界の取組

■京の都酒祭(主催:京都酒蔵組合)

京の都酒のきき酒セット販売や、蔵人によるトークショー、 ワークショップなどのイベントを開催。

日時:令和5年9月30日、10月1日

会場:イオンモールKYOTO

■伏見酒フェス(主催:伏見酒蔵組合)

11酒蔵の蔵開きや18酒蔵による有料試飲が楽しめる ほか、物販ブース、ステージイベントなども実施。

日時:令和6年3月2日(予定)

会場:伏見港公園

○京都酵母

産技研は、香味の異なる5種類の「京都酵母」を開発。精米歩合 による「ランク」ではなく、多様な香味を楽しむ「スタイル」に 価値を転換する取組を進めている。

民間の取組

■二条文化催 ~其の一 発酵マルシェ~(主催:BiVi二条テナント会)

日本酒の試飲、猪口と日本酒試飲のセット販売等を実施

日時:令和5年11月5日

会場:BiVi二条 屋外北側・屋内催事場

■Sake World NFT (主催:株式会社リーフ・パブリケーションズ)

日本酒をNFT(デジタルの引換えチケット)で販売するインターネット上 のマーケットプレイスを令和5年11月にオープン。

■ Sake World Summit In Kyoto

(主催:Sake World Summit In Kyoto実行委員会)

全国の酒蔵による試飲や市内人気飲食店によるフード販売等を実施。

日時:令和6年3月30日(予定) 場所:京都市勧業館みやこめっせ

20

外部資金の獲得



• 京都のため、伝統産業のため、御協力いただける企業・団体からのお申し出

【寄付事例】

○ 一般社団法人 三洋化成社会貢献財団

(株)三洋化成工業と本市及び京都市産業技術研究所において、伝統産業の技術的課題(西陣織の難燃処理や金銀糸の変色等)の解決に向け取り組んでいたところ、更なる本市の伝統産業への支援として、今後の業界を牽引する担い手育成のためとして、「未来の名匠認定制度」に対し100万円の御寄付をお申し出いただいた。

○ 公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金

文化財保護等への支援を行っていた同基金において、支援の対象を文化財の保存修復等を担う伝統産業にも広げていただくこととなり、子どもを対象とした伝統産業の実演・解説及び制作体験事業等を実施している(公財)京都伝統産業交流センターに、毎年50万円の御寄付をいただくこととなった。





様々なマッチング



- 伝統産業の振興につながる事業を実施したい民間企業から京都市への相談
- 金銭等の直接支援だけでなく、展示、販売会場の提供や好条件での販売契約など間接的な支援も増加
- 事業の趣旨を確認し、伝統産業ミュージアムとも連携して対応可能な職人・事業者を御紹介、後援、広報協力

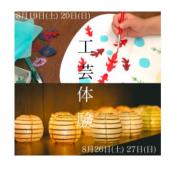
(事例)

- 体験事業・販売企画への職人等の紹介
 - ・ ホテルグランヴィア京都:「まなぶんか(体験事業)|年数回。約20の事業者出展
 - ・ 京都ポルタ:「京まちなか市(販売・体験)」月1回開催。「わかば会」、 「京もの担い手プラットフォーム」から若手職人が出展
 - ・ 京福嵐山駅:「イベントスペースでの工芸体験」7~8月の週末に実施。嵐山周辺、 京福沿線の職人が出展
 - ・ ㈱ニッセン:「未来へつなぐ架け橋プロジェクト」西陣織工業組合と連携したコンテストの実施、ワークショップ(8事業者が出展)
 - ・ 西本願寺:「お西の市(販売・体験) | 7事業者が出展
 - ・ プリンスホテル(高輪エリア):体験事業を年2回実施。これまで31事業者が参画
- 越境 E C事業者への事業者の紹介
 - ・ 水玄京:「SNSによる海外向け動画配信・越境EC」130以上の職人、2,300以 上の商品掲載
- コラボ事業への事業者の紹介
 - ・ マンガ、アニメ、ゲームなどを扱う企業への伝統産業事業者の紹介
- その他
 - ・ 地下鉄烏丸線「おもいやりエリア」への伝統産業品の展示(9編成×各2業種)
 - 「目」の問題から作業継続が困難になることを防ぐためのオートフォーカスアイウェア事業者と職人のマッチング
 - ・ 職人や工芸等をテーマにしたテレビ番組への紹介(月1回程度)









京都市産業技術研究所との連携



• 伝統産業から先進産業まで、地域の産業を技術面から支援する機関。研究開発はもとより、他分野との融合、マッチングから新商品開発、市場開拓につなげ、伝統産業の活性化につなげる。

伝統産業技術後継者育成研修

- · 陶磁器、漆工、京友禅(手描)、西陣織、染色
- ・ 修了生のサポート(製品開発、販路開拓、プロモーション)

○ 担い手プラットフォーム

- · 若手担い手をメンバーとし、ポータルサイトを開設
- ・ 展示会や販売機会の創出、セミナー、交流会の開催など

○ 研究開発・マッチング

- ・ 伝統技術×先進技術・他分野 (漆のブラシ、ジャカードコントローラーなど)
- 京都酵母の開発・コラボ (CLAMPコラボ)
- 文化財修復

○ 技術相談・ブランディング

- ・ 各分野の研究員など専門家による相談対応
- ・ 京都市事業における専門分野のサポート (現地調査同行など)
- 京七宝ブランディング

○ その他

- 工芸研究会→こうげい組体操(コラボ商品、見本市出展)
- ・ 伝統産業ミュージアムとの連携 (漆Lab.などの展示会→産技研技術の見える化と修了生の技術紹介)

















3

京都の伝統産業

公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携

• 京都の伝統産業の活性化に向け、未来の担い手・使い手の育成、伝統産業製品の生活回帰・定着の促進、作り手が行う伝統 産業活性化の支援など、様々な普及、啓発活動を実施

未来の担い手・使い手の育成

- ・ 子どものための伝統産業・伝統工芸体験(年間、3,000人近くが参加) →和の文化・和のしつらえの施設を会場に(仁和寺、東福寺、壬生寺など) 児童館、福祉施設などでも実施
- ・ 学校での伝統産業授業支援(R5は3校への講師派遣又は工房訪問支援)

○ 伝統産業製品の生活回帰、定着の促進

- ・ 匠ふれあい事業(首都圏ホテル、集客イベント)
- ・ 他分野、時事問題とコラボした事業(環境、科学など)

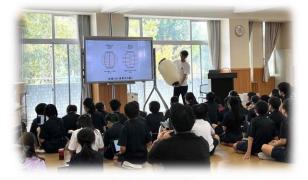
○ 外部資金の獲得

- ・ 文化庁の「地域における子供たちの伝統文化の体験事業」への採択
- 民間企業等からの寄付獲得

○ その他

- ・ 業界の展示会開催支援
- 伝統産業連絡会議
- ・ 「子ども京都伝統産業達人認定証」制度









京都の伝統産: Traditional Industries of Kyr

文化庁との連携

大阪・関西万博に向けた連携

- 市職員が和装で勤務を行う「隗より始めるプロジェクト」において、祇園祭に合わせて、 文化庁においても和装勤務を実施
- 文化庁、京都府、京都市の職員が合同で文化についての理解を深める勉強会を開催
- 文化庁長官室の一部設えを京都伝統産業 ミュージアムがコーディネート





- 万博公式参加国・機関を対象とした国際会議後のエクスカーション(体験型見学会。 11/16実施)を伝統産業ミュージアムに受け入れ
- 京都における万博500日前機運醸成イベント 「MEETS#EXPO KYOTO」には工芸の若手 職人が次世代のステークホルダーとして トークセッションに登壇





⇒京都の工芸の魅力を世界に発信するチャンスと 捉え、今後も連携して取り組む



物価高騰対策(設備投資等への支援)

• 国の地方創生臨時交付金により、令和5年度は約2億円の事業を実施

「京都市伝統産業生産力向上支援事業」

- 予算額:196,000千円
- インバウンドをはじめ観光客が増加するなど、伝統産業品の需要も増加傾向に。
- この機会を捉え、供給体制の確立や新たな事業展開等に 向け、設備等の新規導入や改修等を支援
- 30万円以上の費用を要する設備の改修が対象 (複数台の申請可能)
- 事業費の3分の2以内の額(最大200万円)を補助
- 189件の申請

【令和2年度】計361,915千円

- ○伝統産業つくり手支援事業 新商品開発に係る材料費や労務費等の経費を支援
- ○伝統産業和装産地支援事業 学校教材やMICEに使用するきものや帯などの新規製造を 産地組合に発注

【令和3年度】計408,216千円

- ○伝統産業従事者支援事業 新商品開発等に必要な材料や道具の購入経費を補助
- ○伝統産業品販売促進支援事業
- ・大規模見本市や、越境ECへの出展支援
- ・ バーチャル空間における伝統産業品PR・販売
- ・ 伝統産業ミュージアムを拠点とした実演・販売機会創出

【令和4年度】計94,370千円

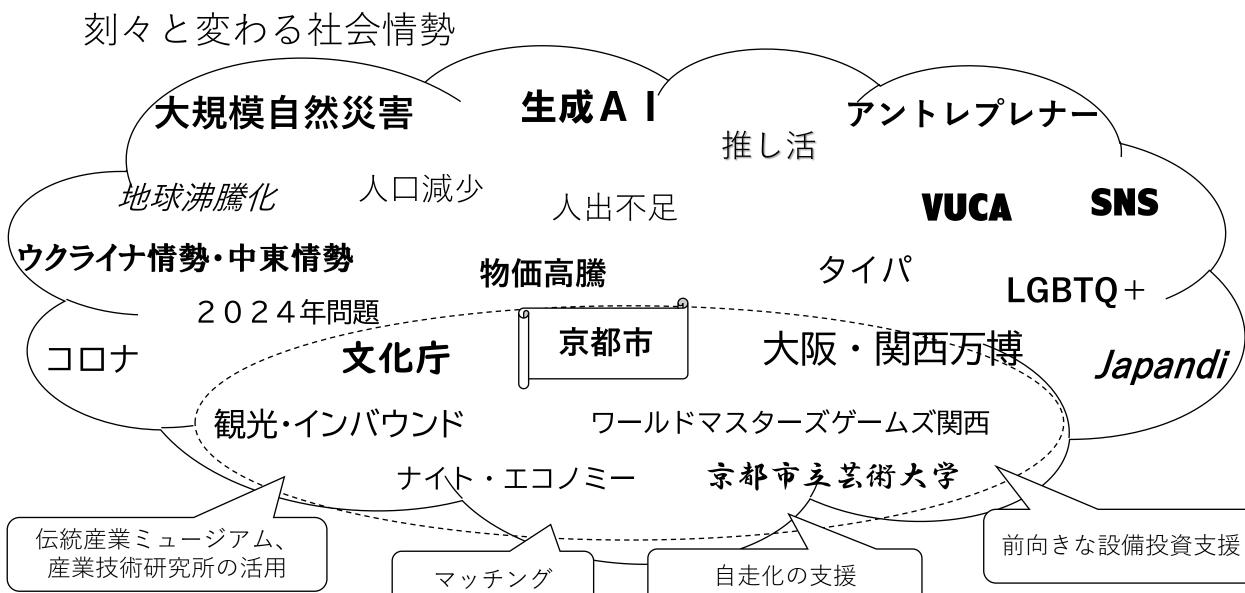
- ○伝統産業製品販売強化等支援事業 新商品開発、30万円未満の設備改修、広告物の制作等を支援
- ○伝統産業製品販売機会創出事業 動画配信等を活用した魅力発信・販売、対面販売機会創出



4 今後に向けて

背景など





28



御議論いただきたいこと

- 第3期計画の終期(令和8年度)も見据えつつ、
 - ① 委員の皆様の業界トレンド、今後重要になるキーワード
 - ② 今後の伝統産業の方向性
 - ③ ①②をどう関連付け、伝統産業の活性化につなげるか

幅広いアイデアをお願いします!